



# 君津ロータリークラブ週報

事務局  
〒299-1144  
君津市東坂田1-3-3-304  
Tel:0439-52-8882  
Fax:0439-27-0622

2025~2026年度

Vol.25 No.2328 2026.3.23

## 令和8年3月 第3例会 曇

開始点鐘 大川裕士 会長  
R ソング それでこそロータリー  
四つのテスト 外山さくら 会員

【出席報告】 免除者0名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2328	46	46	30	16	65.21%
2327	46	46	34	12	73.91%
前々回の修正	メイクアップ	0名			76.09%

(敬称略)

### 会長挨拶

大川 裕士 会長

皆さんこんにちは。いよいよ桜の季節が始まり、野田市の清水公園や館山市の城山公園の桜は開花し、木更津市の太田山公園の開花予想は明後日の3月25日になっています。4月1日には満開になり、8日には早桜吹雪になる予想です。春の訪れと共に、街も明るくやわらかな雰囲気包まれ、見頃を迎えるにつれて、お花見を心待ちにする人達のウキウキ感も増していくでしょう。桜に私達の心が引きつけられるのは、満開の時期がわずか数日間という短さとはかなさに加えて、特にソメイヨシノの淡いピンクの花色が心地よさを感じさせてくれる事にあるようとの事。桜は何故ピンク色の花を咲かせるのか。ピンクに色づくのは理由があります。それは桜に限らず植物が花をピンクや赤にするのは、子孫を残す為の戦略で、受粉を助けてくれるハチ等の昆虫を惹きつける為との事。春まだ浅い時期に桜のピンク色は目立ち、虫達にとって格好的になっています。桜はアントシアニンと呼ばれる色素成分によってピンクに発色します。咲き始めの蕾の頃は赤味が強く、開き始めは淡いピンク色をし、花びらが広がるにつれアントシアニンが分散し、色が薄くなっていき、散る間際にな



ると花の中心部の花托やメシベの根元に色素を集め赤く染まっていきます。カラーセラピーでは桜の薄いピンク色は精神を穏やかにすると言われ、本年度のクラブ活動計画書の色も、それを参考に選びました。美しい儂いものを愛でて、心清らかに、穏やかに保ち日常を過ごし、心に落ち付きと安らぎを感じて今後のロータリー活動の英気を養いましょう。

まとまりませんが、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### 会長報告

- 3月14日(土)にロータリー米山記念奨学委員会、奨学生終了式がロイヤルパインズホテル千葉にて開催されました。当クラブからはカウンセラーの岡野会員、米山奨学生のチェ・イジさん、私(大川会長)が出席してきました。1年間カウンセラーとして奉仕されてきた岡野会員へは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より感謝状が贈呈されました。また、イジさんの米山奨学生延長が決まりましたので、引き続き岡野会員にカウンセラーを務めて頂きます。後程、岡野カウンセラーより報告をお願い致します。



- 3月21日(土)ホテル ザ・マンハッタンにて、第1回会長エレクトラニングセミナーが開催されました。当クラブからは大森会長エレクトが出席されました。お疲れ様でした。4月6日(月)の例会の次年度タイムにて報告をお願い致します。

## 幹事報告

内藤 智介幹事

〈配布物〉

1. 例会プログラム

〈報告〉

2. 次週例会(3月30日)はお花見例会ですが、今年度は、通常の昼間の例会です。お間違いないようお願い致します。



〈回覧〉

1. 君津RC週報
2. 第5グループ週報
3. 甲府東RCとの合同例会・交流会についての出欠の案内
4. 明治神宮、清掃奉仕の出欠の案内
5. ロータリー冊子(英語版)

## 委員会報告

米山奨学生カウンセラー

「米山奨学生終了式について」

岡野 直美会員

3月14日ロイヤルパインズホテル千葉にて2025年度ロータリー米山奨学生修了式が行われました。当クラブからは、大川会長、私(岡野)が参加してきました。

委員長の内村愛さんの挨拶から始まり、ガバナーの時田清次様、パストガバナーの宇佐美透様、ガバナーノミニ尾崎裕一様、米山学友会会長の舞明德(ブミン・ドック)様より祝辞を頂きました。続いて、送辞では君津RC、チェ・イジさんが代表として、挨拶を行いました。とても緊張している様子でしたが、笑顔でやり遂げていました。その後、本来であれば修了証の授与およびカウンセラーへの感謝状贈呈が行われる予定でしたが、チェ・イジさんは2026年度も引き続き君津RCを世話クラブとして米山奨学生となる為、登壇での受け取りはありませんでした。なお、感謝状については別途頂きました。

2025年度米山奨学生として31名がそれぞれの世話クラブで活動していました。4月のオリエンテーションでの自己紹介の頃より、日本語も大きく上達し、RCでの活動を通して、世界平和や日本との架け橋としての意識が強く感じられました。就職が決まった人、大学院、博士課程に進む人、それぞれの

道を歩んでいきます。皆さんの活躍を応援したいという気持ちになりました。



## RYLA報告

青少年奉仕委員会

「RYLAセミナーの感想」

大森 俊介会員

2月22日、23日に開催された、第49回RYLAセミナーへ参加してきましたので報告をさせていただきます。当クラブからは、黒岩さん、秋元直樹君、内藤幹事が実行委員として、一法師君と私が参加ロータリアン枠で、三木造園の能星さんが青少年として参加してきました。場所は、南房総市の甚五郎という宿をメインに、グループディスカッションや歩行ラリー等を行いましたが、参加青少年の中に50過ぎのおっさんが混じって浮きまくりでしたが、最後は少し仲良くなれたかなと感じております。



メインの歩行ラリー1日目は、ひとつのチェックポイントも見つけられず、若干、コマ図作成者に対し人間不信になりましたが、夜のグループディスカッションにて、コマ図のちょっとした違いや意味を考えながら、更に作成者の人柄を理解した事により、2日目は見事1位になる事が出来ました。RYLAへ参加し、些細な違いや細かな情報に気が付く事、チームでの協力の大切さを改めて感じる事のできた2日間でした。

最初は、RYLAに参加しなくていいかなとも思っていましたが、最後は参加して楽しかったと思っておりますので、まだ、参加されていない方は、来年以降是非、参加してみてください。最後に、RYLA委員会の皆さんに感謝し、報告とさせていただきます。

## 一法師 拓也会員

令和8年2月22日から1泊で、ロータリー青少年指導者養成プログラム、通称ライラにロータリアンとして参加させて頂きました。参加のきっかけは、1月の夜間例会後の飲み会でした。その場で「青少年と一緒に野外で謎解きをするイベントがある」という話を聞き、私が何気なく「それは楽しそうですね」と言ったところ、そこからとてつもないスピードで私の参加が決まっていきました。ロータリーの方々の行動力の速さを身をもって体験する事になりました。そして当日が近づくにつれ、私は一つの事実に気付きました。それは、「多数の初対面のロータリアンの方々と相部屋で宿泊する」という事です。正直なところ不安は大きかったです。学生の頃以来の合宿のようなイベントでもありますし、せっかく参加するのであれば全力で楽しもうと気持ちを切り替えて、当日を迎えました。当日、会場である岩井海岸の旅館に到着してまず驚いたのは、携わっているスタッフの多さと、その熱意でした。青少年の為に、これだけ多くのロータリアンが時間と労力を割いて準備されている事に圧倒されました。受付、説明、進行等、あらゆる場面で多くの方が関わっており、プログラムが非常に丁寧に準備されている事が伝わってきました。そして、私が特に感想を述べたいのは、「ウォークラリー」と呼ばれる、青少年と共に歩きながら謎を解いていくプログラムのクオリティの高さです。実は私は最近の趣味として謎解きを楽しんでおり、いわば「謎解きマニア」と言ってもいいくらいなのですが、その私から見ても、このウォークラリーは非常によく作り込まれていると感じました。仕組みとしては、ヒントを頼りにチェックポイントを回りながら順番に謎を解いていくというシンプルなものですが、しかし実際にやってみると、初見ではなかなか答えに気付けない絶妙な難易度に設定されていました。実際、1回目のウォークラリーでは「何をどう考えればいいのか」が分からないまま終わってしまいました。私と同じ班だった青少年達も同様で、終わった後には「なんで解けなかったんだろう」と悔しさを共有しながら、2回目に向けて皆で作戦会議のような事をしていました。出会ったばかりの青少年たちと、こうして悔しさを共有しながら話し合う事で、年齢差を越えてすぐに打ち解ける事が出来たのはとても印象的でした。そして、謎の構造を理解したうえで挑んだ2回目のウォークラリーでは、驚くほどスムーズに謎を解く事が



出来ました。最初は難解に思えた問題が、理解した後は「なるほど、よく出来ている」と感心出来る構造になっており、難易度、ボリューム、そして達成感のバランスが非常に取れた内容で、謎解き好きとしては思わず感心するほどの完成度でした。また、青少年達がチームで協力しながらプログラムに取り組んでいる姿もとても印象的でした。一人では気付けない事も、複数人で考える事で新しい視点生まれ、解決に近づいていく。謎解きというゲームを通じて、自然とチームワークやコミュニケーションが生まれている事に、このプログラムの大きな意義を感じました。

冒頭でも申し上げたとおり、最初は不安を抱えながら参加したライラでしたが、実際に参加してみると、ロータリーの方々の熱意や工夫、そして青少年達の真剣な姿を見る事が出来、とても貴重な時間を過ごす事が出来ました。学生時代の合宿を思い出すような、普段の生活ではなかなか味わえない経験をさせて頂き、心から感謝申し上げます。

## 「ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)について」 地区RYLA実行委員 黒岩 靖之会員

14歳～30歳を対象に指導者および善良な市民としての資質を伸ばす事を目的にしたプログラムで、セミナーか指導者キャンプのどちらかの方法で、クラブまたは地区レベルで行われています。1959年にオーストラリアのクイーンズランドで誕生したものであり、以来、世界中のRCや地区で実施されています。日本で初めてRYLAが開催されたのは、1976年に当時の第366地区(大阪・和歌山)で、当2790地区では1978年に第1回が開催されています。



RYLAとは、「Rotary Youth Leadership Awards」ロータリー青少年指導者養成プログラムの頭文字をとったものです。Awardとは「審査して与える賞」という意味があり、セミナー修了証を与え、将来の指導者の資質ある者として表彰し、優れたリーダーとなるよう努力してほしいという意味が含まれています。このセミナーを通じて、青少年が自己啓発し、指導力を養い、良き市民としての資質を伸ばせるようバックアップする事を目的としています。14歳～30歳の青少年が、地元RCから参加し、地域社会とRCを結ぶ架け橋となる青少年達に、他では得られない体験と交流の機会を与える特別なプログラムです。

当地区のRYLAセミナーは「歩行ラリー」を教材として、毎年約80名の参加者(高校生～30歳の青少年とロータリアン)、および約30名のスタッフ(地区委員・実行委員・ローターアクト)の総勢約100～120名で1泊2日のセミナーになります。「歩行ラリー」でいったい何を学ぶのか?ラリーはペアの頭脳と体力を使い、勝ち負けを競うものですが、それだけではなく、若者とロータリアンは同じ参加者として、寝食を共にしながら共に「考え」「行動し」「議論し」「検証し」問題解決を目指します。「コマ図」に示されている内容はどういう事なのか?それをペア・チームで検討して行きます。その一連の過程において、若者にとっては様々な職業人であるロータリアン達と語り合う事で、人間の幅を広げられた、リーダーシップに必要な創造力を養って行くものです。そして「歩行ラリー」を通じて、参加者に「真実とは何か」を考えて頂き、日常生活の中で知らずに身につけてしまっている「先入観・思い込み・既成概念」等から起こる間違いに気づき、どう対処するべきなのかを考える機会を与えるものです。また、同じ目標の下で参加した初めて会った同世代の人や外国人留学生達との交流を深め、相互理解と親睦を深め仲間を増やす事となる事を期待します。参加して頂いたロータリアンにとっても、若者の感受性や行動力から新たな刺激を受ける事と思います。参加者からは、毎年「参加してよかった」「また参加したい」等の感想を頂いています。そして、この歩行ラリーは減点方式で順位を確定して表彰を行います。単純な順位の表彰より重視されるのが、改善率です。つまり初日から2日目への改善率の向上順位です。これを重視するのも当地区のRYLAの特徴だと思います。毎年の事ですが、参加前後の青少年の顔がはっきり変わっているのが眼に見えてわかります。これが当地区のRYLAセミナーの素晴らしさですが、参加して頂いた方にしかいくら説明してもわからないでしょう。是非、ご理解頂き、一度ロータリアンとして参加してみてください。そして、主催者側ですが、地区委員、各分区より選出された実行委員、若いスタッフ(RACメンバー)の総勢30名よりなります。既に48回を重ねましたが、最初にラリー形式を導入した時は、歩行ラリーのプロにコース作成、コマ図作成等、運営の全てをお願いしていました。そして我が先輩たちの努力により、回を重ねるごとにロータリアン自身による自前のセミナー「歩行ラリー」を行えるようになりました。その事でまたRYLAの面白さも実感する事ができ、約1年前からの準備は大変ですが、その分達成感も大きくなりました。RYLAの地区委員や実行委員を引き受けた方が、感動を味わいRYLAにはまっ

てしまった人が大勢います。そして、その方たちによってまた当地区のRYLAはレベルアップしていきます。RYLAセミナーとは青少年指導者育成だけでなく、ロータリアン自身の養成セミナーでもある訳で、今後も継続し将来の指導者となるべき青少年のお役に立つと共に、私たちロータリアン自身も指導者として成長していくものと思います。

今年度第49回RYLAセミナーは、今年2月23日～24日に南房総市岩井で開催されました。地区委員、実行委員、スタッフ、参加者総数約80名での開催で、地区内約25クラブから参加者・実行委員を推薦していただきました。しかしながら、未だRYLAセミナーに参加した事がないというクラブも多いのではないのでしょうか?

次年度は第50回の節目の大会となります。2027年2月27日、28日の1泊2日で鴨川市小湊さとうみ学校にて、より一層充実したRYLAセミナーを開催したく現在計画しております。ローターアクト、インターアクト、青少年交換、米山奨学生、および会員子弟等はもとより、広く次世代を担う若者及びロータリアンの参加をお願い申し上げます。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

## ニコニコBOX

- |       |   |
|-------|---|
| 大川 裕士 | RYLAセミナーに参加された会員の皆さん、地区RYLA実行委員の皆さん、報告ありがとうございました。次年度も引き続きご協力宜しくお願いします。第47回君津市少年野球大会・第48回君津RC杯開会式に早見青少年奉仕委員長と参加してきました。私にとっては初めての経験でとても貴重な楽しい時間でした。今週末の決勝戦、天候に恵まれますよう。 |
| 大森 俊介 | 野球に参加された皆様、お疲れ様でした。次回は参加出来ればと思います。RYLA是非参加してみてください。   |
| 福田 順也 | 大森会員、一法師会員、RYLAセミナーへの参加報告ありがとうございました。   |
| 隈元 雅博 | 3月20日に、野球部の試合に参加させてもらいました。鈴木キャプテンを始め、お世話になった皆さんありがとうございました。外山   |

さん四つのテストお疲れ様です。岡野カウンセラーもお疲れ様です。RYLAの設営と参加された皆さん、お疲れ様でした。これからも地域貢献と世界平和の為に、ロータリー活動を頑張ります！

佐々木昭博 黒岩会員、大森会員、一法師会員、RYLAの報告ありがとうございました。

大桃 哲郎 RYLAセミナーにご参加の皆様、お疲れ様でした。

内山貴美子 RYLAに参加された皆様、お疲れ様でした。

山口 正洋 大森会員、一法師会員、貴重な感想ありがとうございました。黒岩会員、RYLAについてわかりやすい説明で理解が深まりました。

秋山 大輔 大森会員、一法師会員、黒岩会員、RYLAの報告ありがとうございました。

金子 勝美 大森会員、一法師会員、RYLAセミナー、ご苦労様でした。

松原 颯 RYLAセミナーの発表ありがとうございました。自分も機会がありましたら是非、参加してみようと思いました。また、先週行われた野球同好会の試合に参加された方、お疲れ様でした。自分も一生懸命応援させて頂きました。

早見 秀一 大森会長エレクト、一法師会員、黒岩地区RYLA実行委員、RYLA報告を頂きありがとうございました。3/21(土)君津市少年野球大会、開会式に大川会長と参加してきました。3/28(土)の表彰式にも参加致します。

岡野 直美 3月20日野球同好会に参加された方、お疲れ様でした。次回応援にいきたいと思います。「ロータリー青少年指導者育成プログラムについて」黒岩会員ありがとうございます。

大多和一彦 暑くなったり寒くなったり、体調に気を付けて頑張りましょう。

松岡 靖 暖かくなってきました。花粉も満開です。20日に野球の試合が出来ました。ケガなく楽しい時間が過ごせました。徳ビルさん、関係者の皆さん、ありがとうございました。早く戦乱が落ち着きますよう

に！

永嶋 嘉嗣 出前教室のお礼状、頂きました。

谷川 有司 外山様、四つのテストお疲れ様です。

坂本 直樹 原油価格や調達に直結する中東の情勢から目が離せません。一刻も早い終息を願ってやみません。

秋元ゆかり 皆さんこんにちは。先日、孫の幼稚園の卒業式でした。4月から小学生、孫の健やかな成長を見守れる事に感謝です。

鈴木 荘一 ライラに参加された皆様、お疲れ様でした。

釧持 純一 久々に鳩の話。今年はスタートから好調で100K、300K、500K、600K優勝、今グランプリレースで北海道白老に我が家の愛鳩10羽が参加しています。全体で1万羽ぐらいの参加と思います。水曜日は放鳩予定です。天候が心配ですが、好成績が出ますように祈っています。

馬場 孝弘 野球同好会お疲れ様でした。結果は残念でしたが、まずはケガなく試合が出来た事が幸いでした。次回も頑張りましょう！

